

2025年3月3日

## 重要課題と「2030年のありたい姿」を改正

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区）は、このたび、長期ビジョンの達成に向けて2020年に策定した重要課題（マテリアリティ）を見直し、新たな重要課題と各重要課題に対応する「2030年のありたい姿」を制定しました。

住友金属鉱山は、「世界の非鉄リーダーを目指す」という長期ビジョンを掲げ、この長期ビジョンの達成に向けて取り組むべき重要課題を定めています。持続可能な社会実現への貢献と企業価値の向上に対する社会的要請の高まりを踏まえ、11個の重要課題を6つに集約しました。

また、各重要課題における「2030年のありたい姿」を整理し、それぞれのありたい姿の実現度合いを測定するKPIを再設定しました。

住友金属鉱山は、新たな6つの重要課題と「2030年のありたい姿」を軸に、今後も社会の持続的発展に貢献する経営課題に取り組み、事業の持続的な成長と企業価値の向上を目指してまいります。

### <6つの重要課題と「2030年のありたい姿」>

重要課題	2030年のありたい姿
非鉄金属の安定供給とサーキュラーエコノミーへの貢献	高い技術力で非鉄金属資源を安定的に供給し、サーキュラーエコノミーの構築と維持に貢献する企業
カーボンニュートラル社会への貢献	カーボンニュートラル実現に向けて、温室効果ガス排出量削減とともに低炭素貢献技術の開発に積極的に取り組む企業
地球環境保全	ネイチャーポジティブな未来へ貢献する企業
人的資本経営	多様な人材が集い、成長し活躍できる企業
地域社会との共存共栄	信頼され続けるパートナーとして、地域とともに成長する企業
サプライチェーンマネジメント	持続可能なサプライチェーンを構築している企業

※KPI・目標は次ページの別添資料参照

以上

<本件に関する報道関連のお問い合わせ>

住友金属鉱山株式会社 広報 IR 部 TEL: 03-3436-7705

## KPI・目標（2025年3月3日時点）

重要課題	2030年のありたい姿	KPI	目標
非鉄金属の安定供給と サーキュラーエコノミーへの貢献	高い技術力で非鉄金属資源を安定的に供給し、 サーキュラーエコノミーの構築と維持に貢献する企業	ニッケル生産量※ <sup>1</sup>	10万トン/年（ニッケル量）
		銅権益生産量	30万トン/年（銅量）
		リチウムイオン電池リサイクル処理量	1万トン/年※ <sup>2</sup>
		銅リサイクル処理量	14万トン/年（銅量）※ <sup>3</sup>
カーボンニュートラル社会への 貢献	カーボンニュートラル実現に向けて、温室効果ガス （GHG）排出量削減とともに低炭素貢献技術の 開発に積極的に取り組む企業	GHG 排出量 «スコープ1・2»	2015年度比 38%削減
		低炭素貢献製品の開発と供給 製品供給による GHG 削減貢献量	110万 t-CO <sub>2</sub>
地球環境保全	ネイチャーポジティブな未来へ貢献する企業	重大環境事故防止 重大環境事故件数	0件
人的資本経営	多様な人材が集い、成長し活躍できる企業	エンゲージメントサーベイの「エンゲージメントスコア」	偏差値 55
		重篤災害件数	0件
		女性管理職比率・人数	連結 18% 単体 7%（50人）
地域社会との共存共栄	信頼され続けるパートナーとして、地域とともに成長 する企業	地域住民・先住民との対話 地域の課題解決につながる対話 社外ステークホルダーからの相談対応（グリーンバンス メカニズム）	継続的实施 適切な運用
サプライチェーンマネジメント	持続可能なサプライチェーンを構築している企業	国際認証に適合した当社グループ製錬所の割合	100%
		サプライチェーン全体における ESG デュー・デiligence の実施	
		調達におけるデュー・デiligence	実施・結果開示 2026年度末まで

※<sup>1</sup> 電気ニッケル・硫酸ニッケル・フェロニッケル・塩化ニッケルの生産量、車載用二次電池正極材料に含まれるニッケル（ただし、当社供給分除く。リサイクル由来のニッケルは含む）

※<sup>2</sup> リチウムイオン電池換算

※<sup>3</sup> 電気銅 46万トン/年に対してリサイクル率 30%